

令和8年度一般会計予算

329億6,000万円

関財政課 ☎43-5210

一般会計歳出(性質別)

項目	予算額	構成比
物件費	57億2,024万円	17.4%
人件費	57億1,272万円	17.4%
補助費等	50億8,844万円	15.4%
普通建設事業費	43億4,829万円	13.1%
扶助費	34億7,257万円	10.5%
公債費	32億9,338万円	10.0%
繰出金	22億496万円	6.7%
その他(注)	31億1,940万円	9.5%
合計	329億6,000万円	100.0%

(注) 維持補修費、予備費、積立金、投資出資貸付金、災害復旧事業費

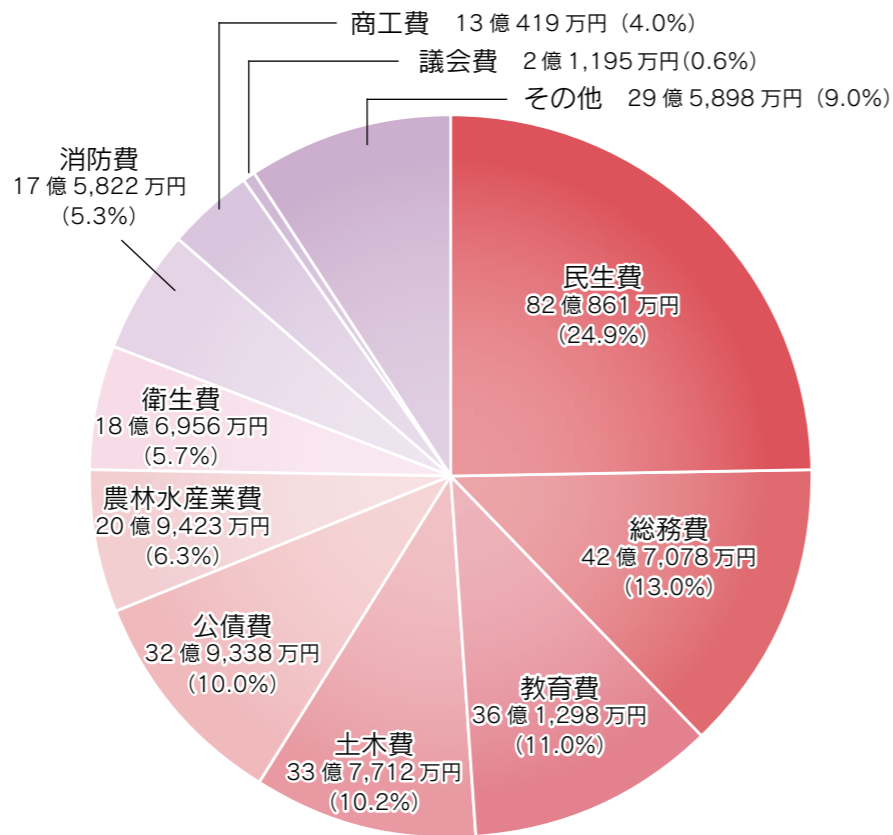
◆歳出
 民生費は、重層的支援体制整備事業費、介護給付費、集会所施設解体事業費の増などにより前年度より増額の82億861万円となっています。総務費は、電算管理事業費の減などにより前年度より減額の42億7078万円となっています。教育費は、小中学校照明LED化事業の実施により前年度より増額の36億1298万円となっています。土木費は、住宅改修事業費の増などがある一方、排水対策事業費や公園整備事業費の減により前年度より減額の33億712万円となっています。

◆歳入
 市税は、個人市民税において農業所得、給与所得の増による増収を見込んでいます。法人市民税において製造業等の業績良好による増収を見込んでいます。固定資産税においては土地と償却資産の減がある一方、家屋の増による増収を見込み、全体では58億2130万円となっています。基金繰入金は、ふるさと南あわじ応援寄附金を積み立てた基金のうち子ども未来基金、学ぶ楽しさ日本一基金の取りくずしの増や、物価高騰対策事業などに財政調整基金を取りくずしたことにより37億5889万円となっています。

令和8年度は政策の軸である「五つの行動」を進化させながら、「お互いさまで創る『健幸』現役社会」、「五感を満たし賑わう『食の島』」、「学ぶ楽しさあふれる『学びのいぶき』と子育て支援」の3つのカテゴリに予算を重点的に配分しました。重点化と継続性に配慮しつつ、「健幸と食、そして学びを育む未来創生予算」として、一般会計予算額は329億6000万円となりました。

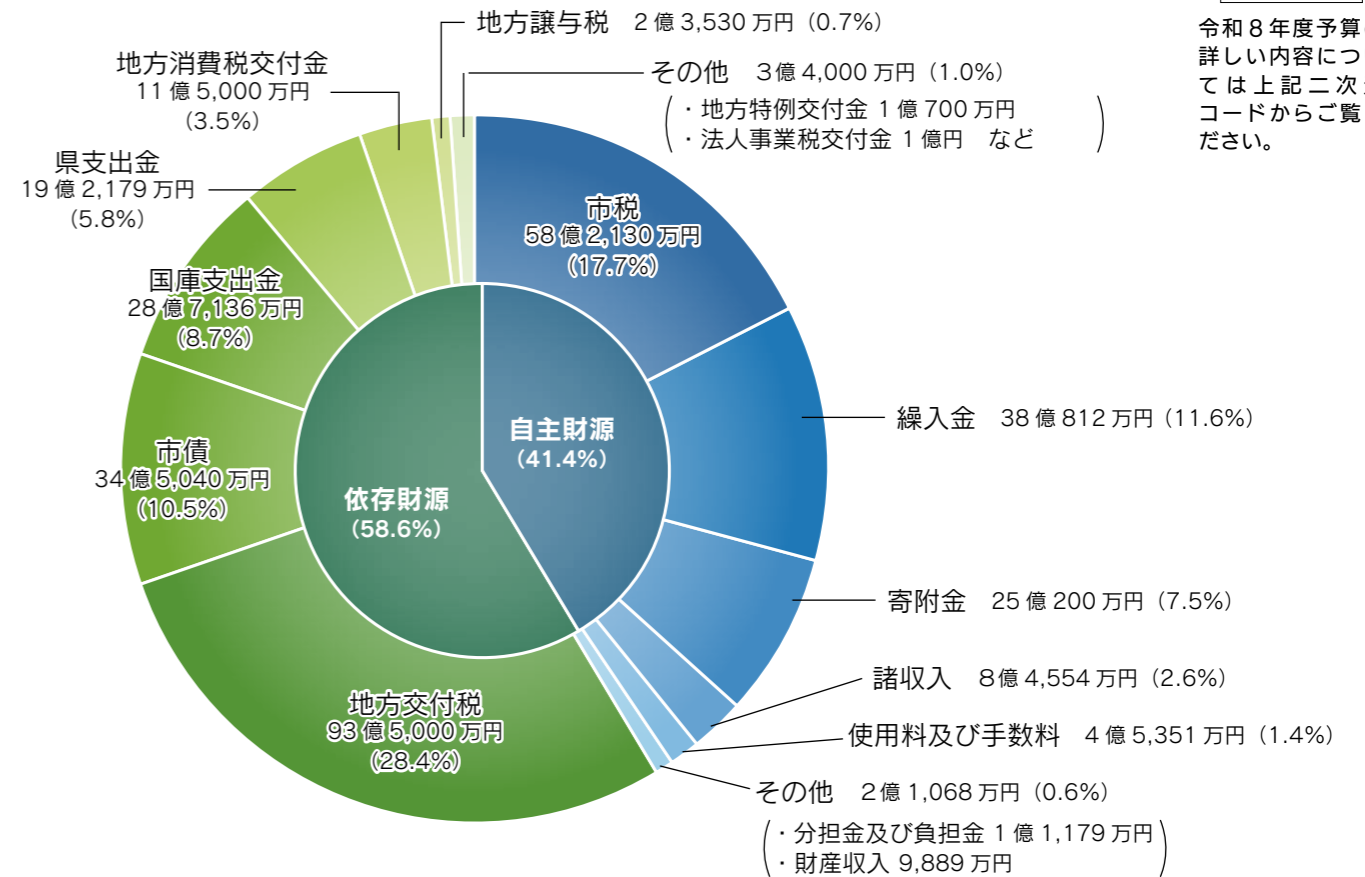
歳出 329億6,000万円

※ () 内は構成比



歳入 329億6,000万円

※ () 内は構成比



令和8年度予算の詳細な内容については上記二次元コードからご覧ください。

特別・企業会計

項目	予算額	前年度比
国民健康保険	59億5,744万円	-2.9%
後期高齢者医療	10億2,802万円	+2.7%
介護保険	51億9,388万円	+2.7%
土地開発	365万円	0.0%
産業廃棄物最終処分	1億5,580万円	+14.6%
国民宿舎		-100.0%
下水道	68億2,919万円	+8.1%
財産区4会計	2,168万円	+34.3%
合計	191億8,966万円	+2.8%

基金(貯金)残高の見込み

	令和8年度末	市民1人当たり
一般会計	127億718万円	29万6,190円
特別会計	12億3,277万円	2万8,740円
合計	139億3,995万円	32万4,930円

市債(借金)残高の見込み

	令和8年度末	市民1人当たり
一般会計	335億6,379万円	78万2,340円
特別会計	8,259万円	1,930円
企業会計	249億6,529万円	58万1,910円
合計	586億1,167万円	136万6,180円

※市民1人当たりの額は、令和8年2月末住民基本台帳人口42,902人で算出

歳出内訳の用語解説

① 民生費 高齢者福祉や少子化対策など
 ② 総務費 一般事務経費や市役所の管理など
 ③ 土木費 道路や河川・公園の整備・管理など
 ④ 公債費 借入金(市の借金)の返済金
 ⑤ 教育費 幼稚園・小中学校の整備、文化・スポーツ等の振興
 ⑥ 農林水産業費 農林水産業の振興、ほ場整備、鳥獣被害対策など
 ⑦ 衛生費 保健衛生やごみ処理など
 ⑧ 消防費 防災対策や市消防団による消防・救急活動など
 ⑨ 商工費 地域商工業の振興、観光事業の促進など
 ⑩ 議会費 議会の運営など
 ⑪ その他 労働費、諸支出金、災害復旧費、予備費など

歳入内訳の用語解説

◆ 自主財源 (41.4%)
 皆さまに納めていただく市税や施設使用料など、市が独自で調達するお金
 ① 市税 市民税や固定資産税など
 ② 繰入金 基金(市の貯金)の取り崩しなど
 ③ 寄附金 南あわじ市ふるさと応援寄附金など
 ④ 諸収入 貸付金元利収入や預金利息など
 ⑤ 使用料及び手数料 公共施設の使用料など
 ⑥ その他 分担金及び負担金、財産収入など
 ◆ 依存財源 (58.6%)
 地方交付税や国・県支出金など、国や県から市に入ってくるお金
 ① 地方交付税 地方の財源の均衡を図るため国から交付されるお金
 ② 市債 建設事業をする際に銀行等から借りるお金
 ③ 国庫・県支出金 事業に対する国・県からの補助
 ④ 地方消費税交付金 地方消費税の一部を財源として、県から交付されるお金
 ⑤ 地方譲与税 国税として徴収され、一律的に譲与されるお金
 ⑥ その他 地方特例交付金などの交付金

① 超高齢社会の克服

◆シニア元気分け合いプロジェクト 4,090万円

「高齢者が元気でいきいきと自分らしく暮らせるまち」を目指し、フレイルの早期把握から地域参加・健康づくりの定着まで切れ目なく支える仕組みを整えます。



◆未来医療サポート事業 1,000万円

市民が身近な場所で安心できる医療体制の維持のために、医療機関の開業費用等に対して助成します。

継続事業

障害者等社会参加支援事業、高齢者等元気活躍推進事業など

② 子育て環境の向上と教育の充実

◆小中学校照明LED化事業 3億2,310万円

市内の小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明へ更新します。



部活動地域展開推進事業 1,240万円

ミナ・カツ事業として学校・家庭・地域が連携し、地域クラブが自走できるように支援を行います。

継続事業

アフタースクール事業、出産祝金の支給など

③ 地域の資源を活かした地元産業の活性化

◆世界に誇る食のエリア形成推進事業 1,000万円

「世界一の食の島」を目指し、神戸・淡路地域の「食」を一層磨き上げ、世界に誇る食のエリアの形成を図ります。



◆丸山漁港施設等活用事業(海業) 1億3,840万円

丸山漁港において、「漁港食堂」や「海洋環境学習施設」の整備など、漁村の価値や魅力を活用した『海業』の取組を支援します。

継続事業

大鳴門橋周辺環境整備事業、マイホーム取得事業など

④ 安全・安心のまちづくり

防災行政無線更新事業 6億3,400万円

災害時に必要な情報を広く市民に伝えるため、整備から10年が経過する防災行政無線の更新を行います。



地域協働メンテナンス事業 4,200万円

道路や河川の軽微な維持補修について、地域と共に取り組む仕組みの構築を図ります。

継続事業

道路橋梁維持事業、道路新設改良事業など

⑤ 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

市民に向けた情報発信事業 6,095万円

ホームページや広報紙、さんさんネット、SNS(LINEを含む)を積極的に活用し、主に市民に向けて、市の政策や魅力、話題を発信します。



地域の担い手づくり事業 100万円

若年層の地域活動参加を促進し、地域の担い手不足解消を目的に、若者が主体となり取り組む地域づくり活動に対して補助を行います。

継続事業

スマホ利活用支援事業など

「子育ての喜びが見えるまち」の実現を目指し、政策の軸である「五つの行動」を進化させながら事業を展開していきます。その中でも「お互いさまで創る『健幸』現役社会」「五感を満たし賑わう『食の島』」「学ぶ楽しさあふれる『学びのいぶき』と子育て支援」に重点的に取り組みます。

※写真付で事業概要をわかりやすく説明した「事業概要説明書」を市ホームページに掲載しています。二次元コードからご覧ください



「五つの行動」

① 超高齢社会の克服

② 子育て環境の向上と教育の充実

③ 地域の資源を活かした地元産業の活性化

④ 安全・安心のまちづくり

⑤ 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

令和8年度重点事業

I. お互いさまで創る「健幸」現役社会 3億6,490万円

<生涯活躍社会の実現>

高齢者元気活躍推進事業、超短時間雇用プロジェクト 等

<健康増進の推進>

シニア元気分け合いプロジェクト、まちぐるみ健診事業、eチャリプロジェクト 等



II. 五感を満たし賑わう「食の島」 23億3,089万円

<地場産業の持続可能性と資源の継承>

丸山漁港施設等活用事業(海業)、農林振興事業 等

<食のブランド化と広域観光による賑わいの創出>

世界に誇る食のエリア形成推進事業、徳島・淡路広域観光周遊ルート形成事業 等



<戦略的発信と交流が創る人の流れと活力>

地域おこし協力隊推進事業、奨学金等返済支援事業 等

III. 学ぶ楽しさあふれる「学びのいぶき」と子育て支援 10億3,462万円

<切れ目ない子育て支援の実現>

こども誰でも通園事業、妊婦歯科個別健診事業 等

<「学ぶ楽しさ日本一」の実現>

ミナ・カツ推進事業 アフタースクール事業 等

<「学びのいぶき」がみなぎるまちづくり>

読書活動推進事業、人権市民意識調査事業 等

